

心を耕す「道徳の時間」の
授業構想力を高める支援資料集



はじめに

生徒一人ひとりが将来にわたってよりよく生きていくための財産は“心”であると考えています。

「道徳の時間」の授業がなかなか思うように作れない、道徳の授業が終わった後の「今日の授業は自分ばかりがしゃべっていたなあ」「生徒たちはタテマエの意見しか言わなかったなあ」というようなむなしさを感じたことはありませんか？

そのような教師の思いを少しでも解決し、生徒一人ひとりの心を耕していく質の高い授業を実践し、そのような授業を重ねていくことが生徒の人間としてのよりよい心の成長を促すことにつながっていくと考えています。

また、昨年度、初任者と道徳の授業をつくっていく中で、「道徳の授業づくりの基礎・基本を示した手引き書があればいいのに…」という思いを強くもちました。資料や生徒の実態などによって、授業の組み立て方は違ってきますが、資料、発問、授業の進め方などのポイントを簡潔でわかりやすく示した手引き書があれば、初任者でも、経験を積んだ教師でも、その手引き書の内容を基に、授業づくりの基本を押さえながら、生徒の実態に合わせて自分なりにいろいろ工夫した道徳の授業ができるのではないかと考えたからです。

そこで、「道徳の時間」に、生徒一人ひとりの心を耕していく質の高い授業を実践していくための支援として、教師（初任者～5年目の教師を中心として）を対象とした「道徳の時間」の授業構想力を高める支援資料集を開発しました。

この支援資料集は、「理論編」と「エクササイズ編」の2部で構成しました。

理論編・・・6月に実施した道徳の時間に関するアンケート調査の結果を踏まえ、授業づくりのポイントを資料と発問に置き、それぞれについて解説しました。

エクササイズ編・・・多くの副読本に載っている資料を中心に選定した5つの読み物資料を提示し、それぞれの資料を用いて、生徒の実態に合わせて授業を構想、実践、評価し、次の授業にいかしていくというエクササイズを5つ設けました。

各エクササイズは、提示されている読み物資料を用いて、授業づくりの段階に従って授業を構想していけるように記入欄を設け、その欄に書き込みながら、生徒の実態にあった道徳の授業を構想していけるように工夫しました。また、それぞれの資料を使った発問例、資料分析例、授業構想例、指導事例を示しました。さらに、価値項目の関連を図った実践例も示しました。

この支援資料集を活用していくことによって、道徳の授業づくりの基本を学びながら、生徒一人ひとりの心を耕す自分の道徳の授業を創っていくことができると考えています。（本資料集で示した授業の形は基本型であり、一つの例です。教師の思いや生徒の実態に応じ、授業のねらいを達成するために、基本を押さえながらいろいろな授業の形を工夫していきましょう。）

この「道徳の時間」の授業構想力を高める支援資料集が、生徒の人間としてのよりよい心の成長を促すことにつながっていくために活用していただければ幸いです。

平成 17 年 3 月

群馬県総合教育センター

学校経営 G 長期研修員 塚越 房江

目 次

はじめに

理論編

- 1、資料に関して
- 2、発問に関して

エクササイズ編

資料を用いての授業づくりエクササイズ

- ・ エクササイズ1
…「6千人の命のピザ」(国境を越えた愛、4 - (10))
対象：中学2・3年
- ・ エクササイズ2
…「マザー・テレサ」(人間への慈しみ、2 - (2))
対象：中学2・3年
- ・ エクササイズ3
…「足袋の季節」(人間の弱さ・醜さの克服、3 - (3))
対象：中学1・2・3年
- ・ エクササイズ4
…「震災の中で」(ともに支え合う、4 - (5))
対象：中学1・2・3年
- ・ エクササイズ5
…「捨てる神あれば拾う神あり」(生き方の探求、1 - (5))
対象：中学2・3年

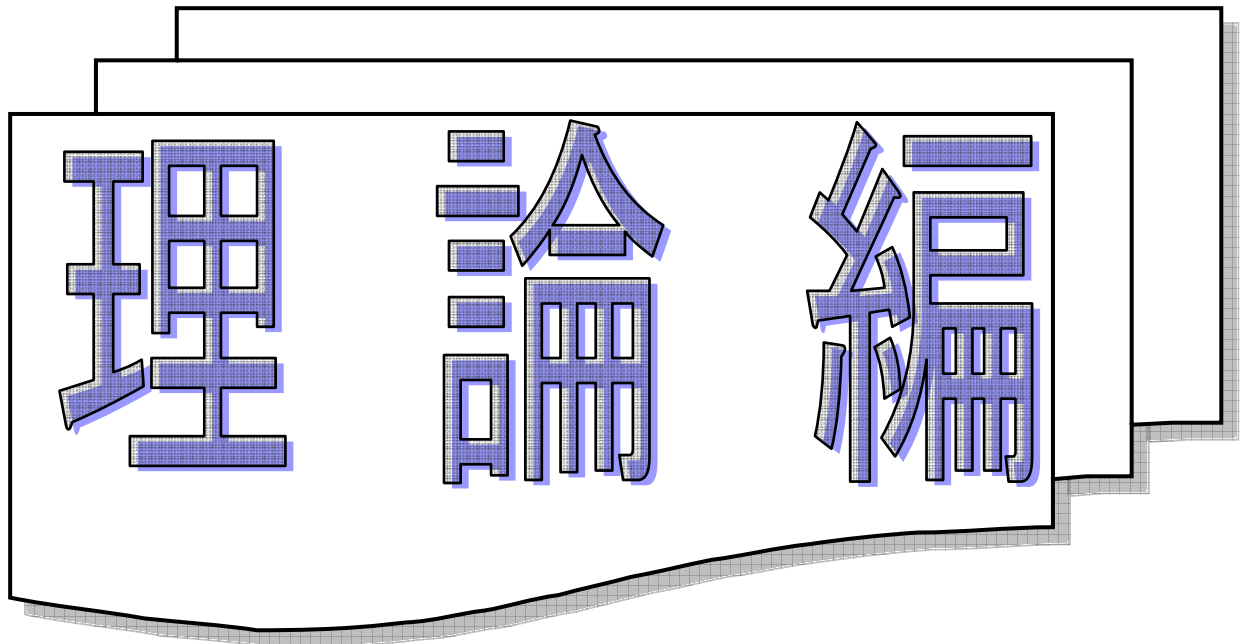


エクササイズ2～5については、
群馬県教育センターにお問い合わせください。



価値項目の関連（実践例）

- ・平成14年度の長期研修員（櫻井雅明、赤坂文弘）の授業実践から
- ・平成15年度の長期研修員（田沼正一、久保えり子）の授業実践から



「資料」と「発問」に関するQ & A

資料に関して

- ・Q1、「**道德の時間**」の授業ではどのような資料が使われていますか？
- ・Q2、「**道德の時間**」の授業で用いる資料選びのポイントは何ですか？
- ・Q3、「**道德の時間**」の資料提示には、どのような方法がありますか？

発問に関して

- ・Q4、**発問**を考えるには資料分析が必要だということですが、資料分析は何をポイントにしていくのですか？
- ・Q5、ねらいに迫るために、どのように**発問**を組み立てていくのですか？
- ・Q6、具体的にどのような**発問**があります？

Q1、「道徳の時間」の授業では、どのような資料が使われていますか？

A1、「道徳の時間」に用いる資料は、これではなければならないということはありません。

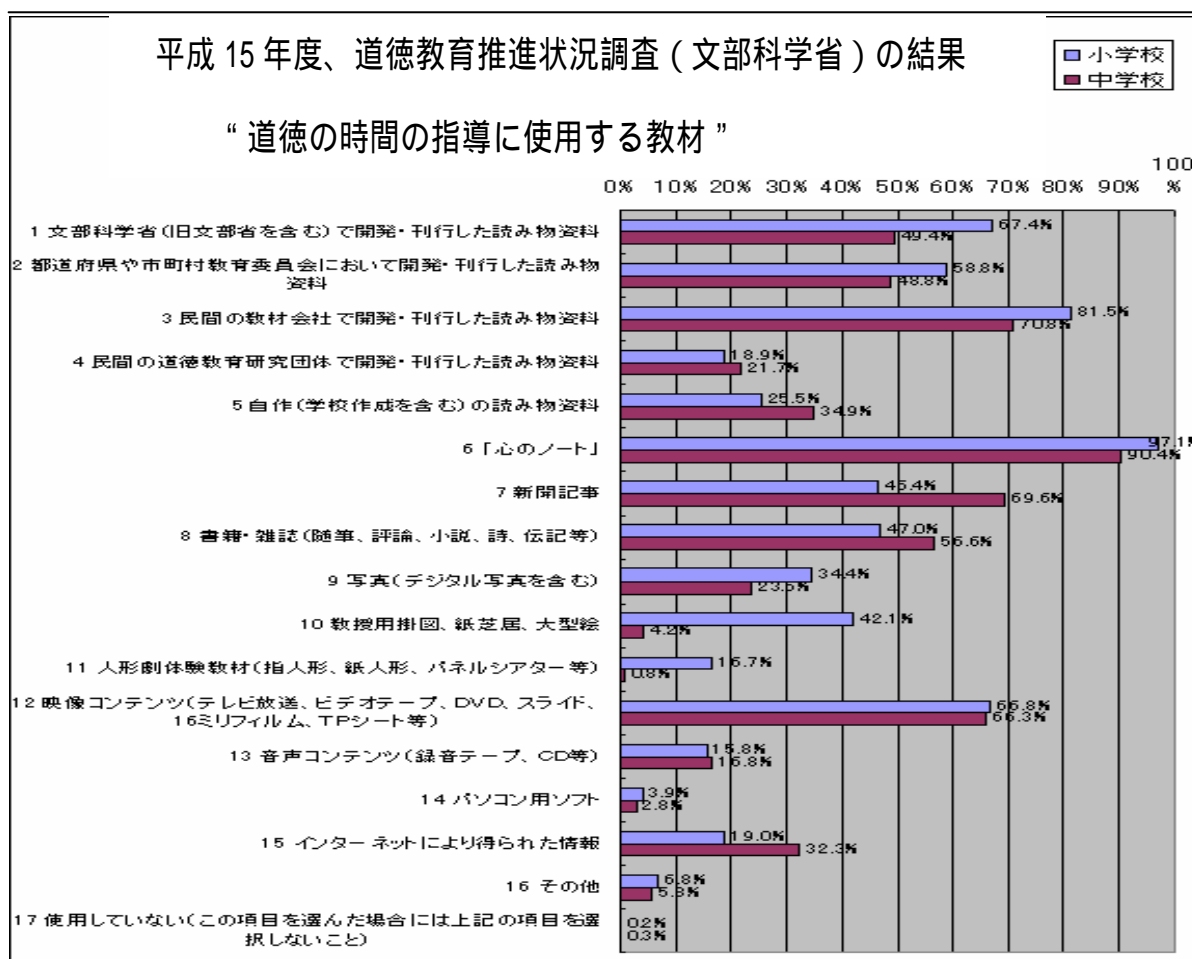
生徒の実態を考慮し、次ページのA2での「資料の具備すべき要件」を踏まえ、資料のジャンルを広げたり、表現媒体を多様にして、授業で使っていくのもよいでしょう。

また、多様な素材に目を向けて自作資料を開発し、授業で使っていくのもよいでしょう。

(参考)資料のジャンル・・・生活文、童話、物語、伝記、詩など

表現媒体・・・文字、写真、絵、漫画、動画(VTR、DVD)など

多様な素材・・・テレビ番組、ニュース、新聞、雑誌、インターネット、体験談、作文、地域の伝統文化などの地域素材など



上記の“道徳の時間に使用する教材についての調査結果から、次のような考察がされました。

“道徳の時間の教材としては、ほとんどの小・中学校で読み物資料(副読本)や「心のノート」が用いられている。また、映像コンテンツ(テレビ放送など)が6割を超える学校で用いられている。中学校では新聞記事なども約7割の学校で使われている。”(文部科学広報、平成16年12月2日刊)全国の小学校、中学校でどのような道徳の時間の教材が使われているかがわかります。参考にしてください。

Q 2、「道徳の時間」の授業で用いる資料選びのポイントは何ですか？

A 2、資料選びで特に留意すべき点は、次の2点です。

生徒の実態に即しているか（生徒の実態や体験とズレがない） 共感資料の内容が、授業のねらいを達成するために効果的であるか。

道徳の時間に用いる資料・・・生徒たちが人間としての在り方・生き方を考えることのできるものであることが望ましいです。

😊 「道徳の授業の成否は資料によって決まる」という意見を聞くことがあります。資料さえよければ、必ず生徒の心に響く授業ができるかと言えば、そうとは言いきれません。資料、授業構成、発問、教師の思い等々いろいろな要素が複合されて生徒の心に響く授業となっていくのです。

価値ある資料は、生徒の心を揺るがす強い力を持っています。

生徒たちは、さまざまな資料の中で、主人公に自分を重ね合わせて考え、自分の意見を言い、友達の意見を聞いて、さらに考えを深めていきます。

資料は生徒の内面を映す鏡と言われているように、生徒が道徳的価値の自覚を深めていくための手がかりとし、大きな役割を担っています。上記A 2の2つの留意点や下記の「資料の具備すべき要件」を踏まえ、生徒の心に響く資料を選んでいってください。

道徳の時間における資料とは？（柴原弘志道徳教科調査官の講演より）

心の中を映し出す内視鏡としての資料
心を磨く砥石としての資料
人間としての生き方について考えるための共通の土俵としての資料
近くて遠い資料、遠くて近い資料
複数資料の活用（補助資料としての「心のノート」）

資料の具備すべき要件とは？（学習指導要領、解説 道徳編 より）

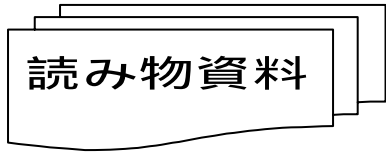
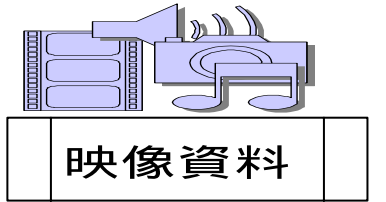
人間尊重の精神にかなう資料
ねらいを達成するのにふさわしい資料
生徒の興味や関心、発達に応じた資料
多様な価値観が引き出され深く考えることのできる資料
特定の価値観に偏しない中立的な資料
生徒の感性に訴え、豊かな感動を与える資料
人間の弱さやもろさに向き合い、生きる喜びや勇気を与えられる資料
生や死の問題、人間としてよりよく生きることの意味などを深く考えることのできる資料
体験活動や日常生活等を振り返り、道徳的価値の意義や大切さを深く考えることのできる資料
多様で発展的な学習活動を可能にする資料



資料を教える？
資料で教える？

Q 3、「道徳の時間」の資料提示には、どのような方法がありますか？

A 3、資料提示の方法には、次のような方法が考えられます。

 <p>読み物資料</p>	<p>事前に生徒に配布し、生徒が感動したり、疑問に思ったり、矛盾を感じたり、心に残ったところなどに印を付けさせる。</p> <p>授業の前にそれを回収し、その内容を分析し、授業のねらいや授業構成に生かす。</p> <p>教師による読み聞かせ (部分読み、全文読み)</p> <p>恥じらいを捨て、登場人物になりきって読もう！！</p>
 <p>映像資料</p>	<p>生徒による朗読 (部分読み、全文読み)</p> <p>録音テープによる朗読 (部分読み、全文読み)</p> <p>(専門家、教師、生徒等)</p> <p>V T R、D V Dによる提示</p> <p>5分～8分程度が好ましい、それ以上だったら編集して短くしよう</p> <p>スライドによる提示</p> <p>O H C、O H Pによる提示</p>
<p>補助資料との併用</p>	<p>場面絵、写真の併用</p> <p>資料を補う</p> <p>読み物資料 + V T R、D V D</p> <p>読み物資料 + C D (B G Mとして)</p> <p>読み物資料 + C D + スライド</p> <p>資料に関連する具体物の提示</p> <p>資料の世界に浸らせる</p>
<p>その他の資料</p>	<p>地域の方による講話 (10分程度)</p> <p>生徒作文 + 関連する生徒の話</p> <p>アンケート結果の提示</p>

😊 ここに挙げた方法以外にも、授業者の工夫次第でいろいろな方法が考えられますが、生徒の実態と授業のねらいに即し、生徒がより深く資料の内容を受け止められるように、いろいろ工夫してください。

😊 アンテナを高く伸ばして、資料を探したり、自作資料を開発したりしていこう！！

教師が意欲と観点 (A 2 で示した「資料の具備すべき要件」) をもって探すと、テレビ番組やニュース、新聞、生徒の作文、体験談等々、いろいろなものが活用できる資料として集まってきます。テレビの特集番組などは、内容もよくまとまっており、視覚的に生徒の心を揺さぶることもでき、効果的です。5～10分程度に編集することが好ましいです。

Q 4、発問を考えるには資料分析が必要だということですが、資料分析は何をポイントにしていくのですか？

A 4、資料分析のポイントは次の5点です。

- ねらいとする価値を頭に置いて、資料を何度も何度も読む。
- 生徒の立場に立って、資料を分析していく。
- 筋の流れ、主人公の心の動き、各場面の中で話し合わせたいところに分けて分析していく。
- 資料分析表の筋の流れに沿って発問を考える。
- その発問で何を生徒に考えさせたいのか（発問の意図）もきちんと押さえる。
- 生徒になったつもりで、発問に対する生徒の反応を予測していく。

資料分析は
授業の土台



（エクササイズ編では、授業構想図を書く段階で発問に対する生徒の反応を予想して書くようにしました。）

資料分析を念入りにすると、発問も精選され、生徒への対応にも余裕が・・・。

< 資料分析表 > 「6千人の命のビザ」

（エクササイズ編
p. 6～17 参照）

筋の流れ	主人公の心の動き	各場面の中で話し合わせたい場面や書き分けるところ	課題とその意図
...	1. 杉原千蔵さんは「2.5万回」のビザを、1940年12月...

< 授業構想図 >

第4単元 4-（10）国境を越えた愛

授業の流れと授ける内容	発 問	予想される生徒の反応	承だて・指導上の留意点
<p>< 置学で・・・各グループで資料分析 ></p> <p>生徒の意図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界中的な視点で捉えたい。 ・人権の観点から捉えたい。 	<p>1. 杉原千蔵さんの活動が自分のクラスに及ぼした影響を、どう感じるか。</p>	<p>1. 感動する。・懐疑的になる。・自分から声がかけてくる。・どう声をかけたらいいかわからないのであけてしまう。・外国人というだけで差別してしまう。</p>	<p>1. 外国からの杉原千蔵が自分のクラスに転校してきたら、どう感じるか？ 考えさせ、個々の体験場面を振り返るきっかけとする。</p> <p>2. 杉原千蔵が描いた人の手紙</p>

< 学習指導案 >

	予想される生徒の反応	種	指導上の留意点
き	○杉原千蔵さんに興味関心をもつ。	5分	○身近起こりうる場面を想定することによって、個々の体験場面を振り返るきっかけとする。
づ	○杉原千蔵がそのとき発行したビザの枚数と助けた人の子供の数を出すことによって、杉原千蔵の活動の規模を...	見込みしちゅう	○杉原千蔵がそのとき発行したビザの枚数と助けた人の子供の数を出すことによって、杉原千蔵の活動の規模を...
ん	...	2000、2	...

よく
練った？

エクササイズ編の ~ で、実際に資料を分析し発問を考え、授業を構想してみよう。

Q5、ねらいに迫るために、どのように発問を組み立てていくのですか？

A5、授業のねらいに迫るために、次のように発問を組み立てていく。

授業のねらいと生徒の実態を常に頭に入れて発問構成を考えていく。

資料分析を基に、筋の流れに沿って、発問を考える。

筋の流れに沿って考えた発問と下記のような授業の流れとを考え合わせ、発問をさらに絞っていく。

“授業のねらい ⇨ 生徒から出させたい意見 ⇨ どんな発問を組み立てていけばよいかを考える” というやり方もあります。

発問3～5ここで授業をつくらう

😊 < 下記の各段階での発問のポイント >

の段階・・・人間の弱さやずるさに共感させ、自分の内面を見つめるような発問を考える。

の段階・・・生徒たちのもっている多様な価値観を引き出し、それを基に生徒と生徒で意見を言い合い、聴き合えるような発問を考える。

の段階・・・資料から離れ、自分自身を再度見つめるような発問を考える。

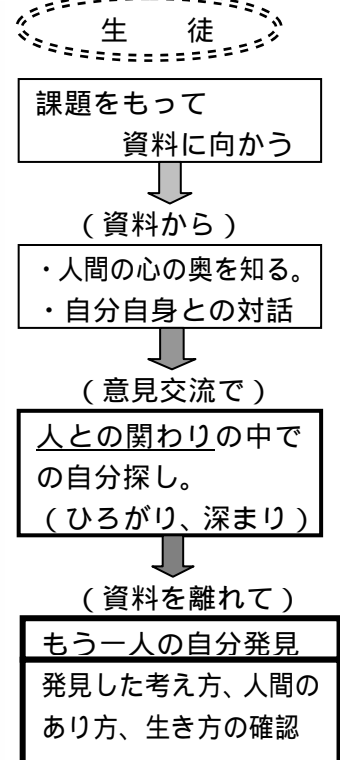
例) 自分を振り返って見たとき、何か気づいたことや新たに発見したことはありますか？



1時間の道徳の授業は、下記のような授業の流れが基本と考えています。
発問も、この授業の流れに従って考え、組み立てていきます。

過程	学習活動と主な発問 (生徒の立場で書く)	予想される生徒の反応 (生徒の立場で書く)	時間	指導上の留意点 (教師の立場で書く)
きづく	生徒の心を驚きつけよう!!			
とらえる		弱さに共感! 自分と同じだな		自分だったらどうするかなあ?
深める		① 資料から自分自身を振り返り、自分の内面を見つめる。		② 意見を交換させる!! いろいろな考え方を知り、自分の考えを紙に、深める。
見つめる		③ もう一度自分自身を振り返り、自分の内面を見つめ、今後どのようにしていくかを考える。		今までは・・・だったけれど、これからはこうにしていきたいなあ!!
響かせる	心の深層を心の大地に響かせていこう!!			

評価の観点及び評価の方法 (いつ、何を、何で)



Q 6、具体的には、どのような発問がありますか？

A 6、発問の種類は大きく分けると次の3つがあります。

基本発問

(一問一答形)

(ビリヤードのブレイクした玉のような形に)

* 資料を扱う上で話合いの柱となり、生徒の思考を促す発問。

ポイント
資料の中の主人公に共感させるための発問

- ・ 生き方 葛藤
- ・ 人間らしい心の弱さ、ずるさ (わかっているけれどできない・・・)

具体的には、こういう発問が考えられます

気持ちを問う発問例

「～のとき、・・・はどんな気持ちだったでしょう」
「このときどう思っていたのでしょうか」
「　　の心の中は、今はどんな気持ちでしょうか」

理由を聞く発問例

「なぜそうだと思いますか」
「どんな考え方から～したのでしょうか」

行為を問う発問例

「　　はどうすればよかったと思いますか」
「自分ならどうしますか」

どうして？

どのように？

中心発問

* ねらいとする価値を最も深く考えさせ、追求させ、授業の山場となる発問。

ポイント
生徒の多様な価値観を引き出させるための発問

具体的には、こういう発問が考えられます

「　　が～したのは、どんな考え方をしていたからでしょうか」
「～になるとわかっているけど、・・・したのはどうしてだろうか」
「～と考えながらも、・・・できたのはどんな考えからだろうか」

補助発問

授業に広がり
と深みを与え

* 基本発問や中心発問を補う発問。軽い問いである。

ポイント
抽象的な意見、感想に具体性をもたせる発問。
切り返し、揺さぶりをかけるための発問。

具体的には、こういう発問が考えられます

「そうだね。それをもう少し詳しく、例えば、どんな？」
「それ、どういうこと、具体的に教えて」
「なぜそう考えたの」「そう言われて相手はどう感じたかなあ」
「なるほどね、いいことに気がついたね、それをどう生かす？」

9